



総合訓練大会



しむかっぶ消防フェスタ



定例消防訓練

消防団

～災害から村を守る～

自らの地域を自らで守る 『ヒーロー』になりましょう

1 消防団とは何か

消防団とは、普段はそれぞれの仕事をもち、災害発生時に活動します。具体的には、火災の消火活動や災害防ぎよ活動だけでなく、災害発生時の避難誘導、ドクターヘリのランデブーポイント（ヘリの着陸地点）警戒・誘導などの活動を行っています。

現在占冠村には、38人の男性消防団員と6人の女性消防団員の計44人が在団し、月1回の定例訓練のほか、年初めに行われる「出初式」等の行事へ参加しています。

占冠消防団の特徴は、富良野広域連合管内の消防団で最初に女性消防団員が入団したこと。現場活動はもちろん、避難所に避難されてきた方々の心のケアなど女性ならではのきめ細やかな対応ができます。また、火災予防の一環として高齢者宅の防火訪問など村内の住宅火災予防活動を行っています。



出初式の様子

2 占冠消防団の組織体制

占冠消防団は現在、占冠中央の第1分団、トマム地区の第2分団を配置しています。

第2分団には職員がいないため、分団委託団員を中心に、トマム地区内での災害や救急でのドクターヘリ警戒などに出動しています。

占冠中央でのドクターヘリ誘導は基本的には職員が対応していますが、人員不足の場合は団員を招集し、現場に出動することがあります。消防活動の効率

3 主な年間行事

4・5月	入退団辞令交付式、新入団員訓練 春の火災予防運動、定例消防訓練
6・7月	富良野地区分会消防総合訓練大会 定例消防訓練
8・9月	占冠村防災訓練協力、しむかっぶ消防フェスタ 消防団員現地教育訓練、定例消防訓練
10・11月	占冠消防秋季演習 秋の火災予防運動、定例消防訓練
12・1月	出初式、定例消防訓練
2・3月	定例消防訓練

4 消防団長からの挨拶

消防団は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護精神に基づき、住民有志により結成された市町村の消防機関です。全国では、約82万人が消防団員として活躍しています。

昭和27年当時、全国では200万人以上の団員数でしたが、平成2年には100万人を割り込み全国的に減少傾向が続いています。

占冠消防団も例外ではなく、定員50人に対して、定員割れがここ数十年継続しています。平成29年4月には、地域に密着した活動を広く行うことを目的に、女性消防団員入団等の定員補充策をとって、消防団活動の活性化に取り組んできました。

現在実員44人の消防団員が、村内の消防防災の中核として、従来からの任務である消火活動はもちろんのこと、防火指導を兼ねた高齢者住宅への戸別訪問、救急支援（ドクターヘリ警戒）、月例訓練等で活動しています。

このような活動は、災害発生時に地域密着性、要員動員力および即時対応力が



占冠消防団 団長 河瀬悦司

ある消防団による避難誘導や災害防ぎよ活動に繋がるものと期待されています。

最後になりますが、全国的に消防団員数が減少を続けることにより、地域の消防力の低下が懸念されていますが、占冠消防団は、より一層消防団員の確保に向けてさまざまな取り組みを今後も続けていきます。

村民各位のご理解とご協力を今後ともよろしくお願ひします。

5 入団したい方へ

今特集では消防団の具体的な内容について紹介させていただきます。

消防団は地域の方々にとって地域防災の要となる存在です。「住民のために少しでも力になりたい」などの気持ちをもっている方、少しでも興味が湧いてきた方など、気軽にご連絡ください。

**富良野広域連合
富良野消防署占冠支署**

〒079-2201
北海道勇払郡占冠村字中央
☎0167(56)2119
FAX0167(56)2738
消防係 水越・工藤・谷口

占冠消防はフェイスブックを使って情報発信を行っています。職員や団員の訓練の様子だけでなく、表彰、救急月報、占冠消防クイズなど、さまざまなことを投稿させていただきます！ぜひチェックしてみてください！

「占冠消防」で検索！

